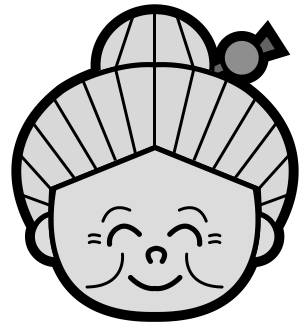


スローライフ・・・ おばあちゃんの知恵袋 昔から伝わる生活の知恵を考えよう



掃除・洗濯や料理・野菜づくりなど、さまざまな生活の知恵・技術は、親から子へ代々受け継がれ、経験を通して育まれてきました。しかし、いまの核家族化や個人の時代なのでしょうか、いつしか親から子へ、おばあちゃんから孫へ伝える機会が少なくなってきました。

プリンせっけんづくりから洗剤を見直し、福寿川や海をきれいにしようとして昨年からはじめましたが、参加された方々から、「こんなことをすると洗剤を使わないできれいにできる」、「簡単に茶渋が落ちる」など色々たくさんの知恵をいただきました。もったいないので皆さんに「おばあちゃんの知恵袋」(注)教えてくれた方々は若い方です)として少しずつお伝えしていきたい、そして、そのような中からスローライフを考えてみたいと思います。

最近スローライフという言葉をよく聞くようになりました。定義は色々あるようですが「私たちが生活のペースを少し落とし大切なことに目を向け、大切なことにもっと時間をかけ、充実した生活を過す」と、わたしたちは考えています。今の時代、知恵や生活の技術がなくても、お金さえ払えば何でも手に入れることが出来る時代になってしまいました。

「スローライフ」という言葉が広まる理由として、便利になりすぎて人の顔が見えなくなった社会を不安に思う心が働いていると考えます。

「スローライフ」という言葉には、自分自身で生活を作り上げるといった意味があると思います。いつしよに自然と環境にやさしい生活を作りませんか。



おばあちゃんの知恵袋

その1 お米のとき汁

お米のとき汁を毎日そのまま台所から流していませんか。お米のとき汁を魚が住める水質にするためには約600倍に薄めなければなりません。毎日のことです、河川の汚れに重大な影響を与えています。

そこで、活用法・・・

① 植木や鉢植えに撒く、良い肥料になり、防虫効果もあるそうです。

② 木製家具やフローリングのつやだし・ほこりや油分でもった鏡に・・・

霧吹きに入れ、ひと吹きしてからカラ拭きします。

(みかんの皮汁でもOK) ③ プラスチック容器の嫌な臭いをとる・・・

キムチなど食べ物の匂いが付いてしまったプラスチック容器も30分〜1時間ぐらいつけて置くと、不思議に取れます。

④ 油污れの食器洗いに・・・米のとき汁をたらいいなどにとつておき、油污れの食器を入れ、スポンジでこすり洗います。後は洗い流すだけです。

その2 塩

頑固な茶渋や調理器具などの汚れに、強力な合成洗剤や漂白剤を使っていました。でも、身近にこんなにパワフルで自然にやさしいものがあつたのですね。

①茶碗やきゅうすなどの茶渋おとし・・・水を少し含ませたスポンジに、塩（粗塩がベスト）小さじ半分をのせ、茶渋の気になるところを磨きます。注ぎ口やフタなど細かな所はスポンジの替わりに綿棒や小さめの歯ブラシで磨き、水洗いします。

②レースのカーテンについたヤニ・・・大きめの洗いおけ（なければ浴槽の中でも）にカーテンが浸るくらいの水を入れ、塩大さじ2〜3を加えてよく混ぜる。適当な大きさにたたんだカーテンを入れ、6時間ぐらいつけ置きする。

あなたにもおばあちゃんやお母さんから受け継いだ生活の知恵がありませんか、是非教えてください。

環境を良くする運動を、町民の皆さんと一緒に、「自分の出来るところから、出来る時からすこしずつ始めて行きたい」と思っています。あなたも、今からでも一人からでも出来ます。

ちょっとだけ自分のまわりの環境に目を向けてみませんか。

それが未来の子どもたちへ、素敵な環境を残して行けるカギだと思います。

環境計画町民会議へのご意見をお待ちしています。

プリンせっけんづくりやリサイクル・キャンドル、環境に関することなど知りたい方は、5人以上のグループであれば「出前講座」でどこへでもお伺いします。事務局までお問合せください。

▶事務局/農林水産課自然環境係へご連絡ください ☎ 2-1211(内線 347)
E-メール nousui@town.haboro.hokkaido.jp